

道路建設工事における通路を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	17～18	作業が終了して、両手にチェーンソーと工具箱を持ち、山の斜面を歩いて降りるとき、長靴を履いていて、落ち葉の上で足元が滑り、両手がふさがっていたため、手を突くことが出来ず、斜面を10mほど滑落し、最後に高さ4mの岩の上から舗装道路の上に左肩から転落した。	69	—
2	9～10	改良工事（2工区）の工事において、道路付近の切土面に滞水した雨水排除のため、水中ポンプにて水替え作業を行う準備中、昇降ルートでなく通行禁止にしていた法面（盛土上部）を自己の判断で通行し、足を滑らせて転落した。	55～99	50
5	14～15	現場内資材置場で、型枠取付の為に単管を持ち上げた際、足元に転がっていた直径約5cmの石を踏み左足首をひねり怪我をした。	30～49	30
6	14～15	当社敷地内で、ゴミ集積所を作る作業をしていたところ、約5cm程の段差に躓きバランスを崩して、足の足首を強くひねってしまい負傷したものである。	63～99	50
7	13～14	4路線舗装道補修工事及び、セメントミルク注入工事の際、セメントミルク攪拌のため、散水車で水を汲み、両手にポリタンクを持ち移動するとき、養生ベニヤ（薄ベニヤ、厚さ約3mm）に躓き転倒し、膝を強打し負傷した。その後は終業時刻まで仕事を続けたが、帰宅後に膝が腫れ、痛みが出てきた。	60～99	10
7	16～17	土場にて、障壁を乗り越えようとしたときに足を滑らせて転倒し、左脇腹辺りを強打し受傷した。	74～99	1

11	8~ 9	事業所内厨房で、調味料の計量後、調味料のボトルを片付けようとした時、しゃがんでボトルを取ろうとしていた社員に気が付かず、衝突しそうになった為、避けようとバランスを崩し転倒した。作業台に右手上腕を強打し、骨折する。	1 45 ~ 9
----	---------	--	-------------------

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to : [https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_11.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html)